

新しい産業労働計画の方向性（骨子案）

策定の趣旨

県ではリニア中央新幹線開業後の2030年頃を展望し、2020年までに取り組むべき重点的な戦略を明らかにするとともに、県内各地域の取組方向を示した「あいちビジョン2020」を2014年に策定した。

産業労働施策についても、このビジョンの方向性に沿った施策展開が求められることから、「あいち産業労働ビジョン2011-2015」がその計画期間を終える2015年度末を目途に新たな産業労働計画を策定する。

なお、この計画では、「あいちビジョン2020」の基本目標である「日本一の元気を暮らしの豊かさに」の実現に向け、産業の振興を、人や地域の元気につなげ、日本一ビジネスがしやすく、働きやすく、暮らしやすい地域の実現を目指した新たな視点による計画とする。

計画の位置づけ

- ・「あいちビジョン2020」の方向性に沿って具体的な施策を記述
- ・国の戦略や東海産業競争力協議会の取りまとめ等を反映
- ・関係部局との連携も視野に、全庁的なビジョンとする
- ・産業労働政策に関する個別計画の指針とする

計画期間

2030年頃の社会経済を展望し、2020年を目標とする。
計画期間：2016年度～2020年度（5年間）

検討の視点

課題（あいち産業労働ビジョン2011-2015の評価、中小企業の声より）

- ・中小企業・小規模事業者には施策の情報や成果が行き届いていない。
- ・次世代産業に関する取組は順調に推移するも、国際的な競争が激化しており更なる強化が必要となっている。
- ・中小企業では必要な人材が確保できない状況が続いている。また、事業継承についても課題となっている。
- ・女性、高齢者、障害者などの雇用の場が依然として不足している。
- ・年次有給休暇の取得や男性の育児休業取得率の向上は道半ばの状況。

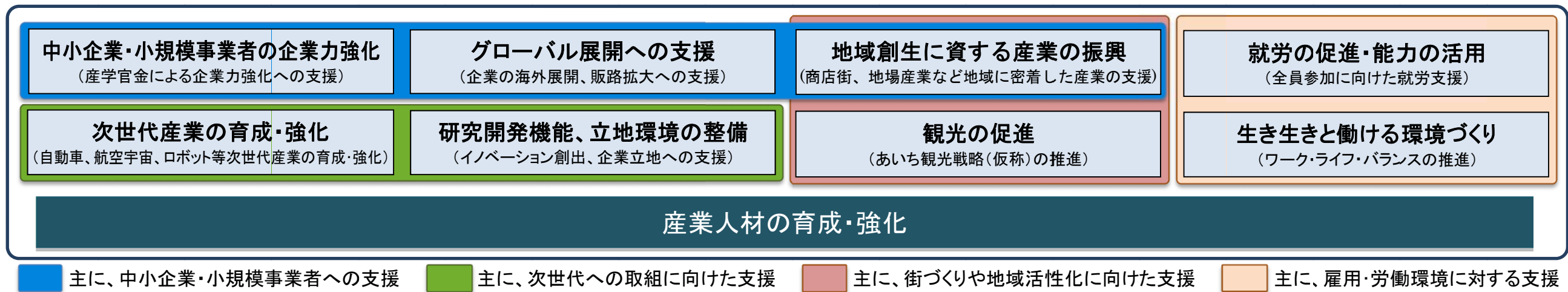
環境の変化等

- ・少子高齢化の進展（本県人口は、2020年頃にピークを迎える見込み）。
- ・リニア、FCV、MRJ、オリンピック・パラリンピックなどのプロジェクトがスタート。
- ・リーマンショック後の就職難から、少子高齢化や景気の回復に伴う人材難へ。
- ・東アジアを中心とした海外との経済や人の交流が急拡大。
- ・イノベーション創出に向けた世界的な競争の激化。

8つの重点施策分野と、全ての分野の横断的施策（施策の柱）

計画の方向性を明確にし、重点分野への集中的な取組を実施していくため、戦略分野を設定し、そのもとで個別プロジェクトを検討していく。戦略分野については、「あいち産業労働ビジョン2011-2015」をベースに、現ビジョンの進捗や環境の変化を踏まえ、8つの柱で構成する。

また、グローバル化や少子高齢化が進む中、当地域が引き続きわが国の産業を牽引して行くためには、地域を支え、産業を支える人材の育成が不可欠である。これは、プラン全体の根源となるものであり、各分野の横断的な施策として、戦略的・重点的に取組を進めていく。



各主体の役割の明確化

県民、企業、大学、経済団体、労働団体、支援機関、金融機関、国、市町村の連携・協働を進めるとともに、役割の明確化について検討し方向性を示す。

フォローアップの実施

個別施策の進捗を管理するアウトプット指標と、地域が目指すべき目標であるアウトカム指標を設定し、ビジョンの方向性を明確にするとともに、その指標によりフォローアップを実施する。

施策の柱

<p>中小企業・小規模事業者の企業力強化 (産学官金による企業力強化への支援)</p> <p>中小企業は県内企業の 99.7%を占め、産業と雇用をになう存在である。中小企業・小規模事業者の企業力強化に向けて、支援体制の強化と、わかりやすく使いやすい施策の充実に努めていく。</p> <p>【支援施策の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業、新規事業展開、販路開拓、事業継承、金融創造、商品開発の支援 等 <p>【支援体制の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産学官金の連携、役割分担 ・相談窓口機能の強化 等 	<p>次世代産業の育成・強化 (自動車、航空宇宙、ロボット等次世代産業の育成・強化)</p> <p>本県が引き続きモノづくりの中核機能を維持し、その競争力を高めていくため、次世代自動車産業、航空宇宙産業、ロボット産業を始め、健康長寿産業や環境・新エネルギーなどの内需型産業の振興を図る。</p> <p>【自動車、航空宇宙、ロボットの振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次世代自動車、航空宇宙、ロボットの研究開発・普及の支援 等 <p>【内需型産業の振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境・新エネルギー産業、健康長寿産業、IT 産業等の振興 等 	<p>グローバル展開への支援 (企業の海外展開、販路拡大への支援)</p> <p>県内中小企業の海外展開を総合的にサポートする体制を整備するとともに、国際見本市等の誘致・開催など、海外との取引機会を生む戦略的な取組を進めていく。</p> <p>【国際ビジネスの戦略的展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業の海外進出・取引拡大支援 等 <p>【支援体制の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あいち国際ビジネス支援センター」や関係機関との連携による支援 等 	<p>就労の促進・能力の活用 (全員参加に向けた就労支援)</p> <p>若年者、女性、高齢者、障害者、外国人等のスキルアップを図るとともに、求人と求職のマッチングを強化し、働きたい人がその能力に応じて働きたい場所で働くことができる社会づくりを推進する。</p> <p>【就労支援、人材の確保・定着】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者、女性、高齢者、障害者等の就業支援 ・再チャレンジ、マッチング機会の拡充 等 <p>【支援体制の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関、教育機関との連携促進 ・情報提供・相談機能の充実 等
<p>地域創生に資する産業の振興 (商店街、地場産業など地域に密着した産業の振興)</p> <p>商店街や地場産業を始めとする地域に密着した企業は、地域の雇用やコミュニティを支える拠点である。</p> <p>こうした組織の活性化を図り、まちの賑わいを創生していく。</p> <p>【商店街等の地域の商業・サービス業の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティの担い手としての商店街支援 等 <p>【地場産業等の地域産業の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品開発の支援 ・販路開拓、技術力向上の支援 等 	<p>研究開発機能・立地環境の整備 (イノベーション創出・企業立地の支援)</p> <p>本県が引き続き我が国の産業を牽引していくためには、絶え間ないイノベーションの創出が必要である。「知の拠点あいち」など地域の研究開発機能の強化や立地環境の整備によりイノベーション創出の環境を強化する。</p> <p>【研究開発機能の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産学行政によるイノベーションの創出 ・研究開発拠点の整備 等 <p>【立地環境の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業立地・再投資・対日投資への支援 ・立地基盤整備、用地開発 等 	<p>観光の促進 (あいち観光戦略(仮称)の推進)</p> <p>2015 年の「あいち観光元年」を契機に、東京オリンピック・パラリンピックの開催やリニア中央新幹線の開業を念頭に本県の魅力を国内外に発信し、ヒト・モノ・カネを呼び込む地域づくりを推進する。</p> <p>【誘客体制確立、MICE の誘致・開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ観光の推進、ブランドの構築 ・プロモーション体制の確立 ・MICE の誘致・開催、大規模コンベンション施設の設置検討 等 	<p>生き生きと働ける環境づくり (ワーク・ライフ・バランスの推進)</p> <p>全ての労働者がやりがいを持ち、多様な働き方が選択できる環境整備に向け、ワーク・ライフ・バランスを推進し、多様な人材が能力を存分に発揮して、生き生きと働き続けられる職場環境づくりを促進する。</p> <p>【生き生きと働ける環境づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワーク・ライフ・バランスの推進 ・多様な働き方が選択できる職場環境整備 ・非正規雇用労働者の処遇改善の促進 ・メンタルヘルス対策の推進 等

あいち産業人材育成・強化戦略

経済のグローバル化や少子高齢化による人口減少社会の中にあって、本県が日本一の産業県・モノづくり県として成長を持続していくためには、全ての人材がその能力を存分に発揮することが重要である。そこで、産学官が連携し、社会全体で人材を育成する体制を整えるとともに、人材育成の方向性や具体的プログラム、各機関の役割分担などを定めた「あいち産業人材育成・強化戦略」を作成し、計画的かつ効果的に人材育成を推進する。

【高度なモノづくり人材の育成支援】

- ・モノづくり基盤強化に向けた人材育成の強化
- ・産業人材の育成体制の整備
- ・技能五輪国際大会の誘致検討 等

【中小企業の人材育成・能力開発支援】

- ・企業ニーズに応じた人材育成支援
- ・企業内研修への支援
- ・労働生産性の向上 等

【キャリア教育・産業教育の推進】

- ・発達段階に応じたキャリア教育の推進
- ・インターンシップの充実・職場体験の促進
- ・学校教育、地域活動との連携・協働 等